

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

急性 A 型大動脈解離症例における白血球値上昇の原因と臨床意義の検討

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 心臓血管外科 (研究責任者) 鈴木 馨斗

### <研究期間>

承認日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日

### <研究の目的と意義>

急性大動脈解離は重篤な循環器緊急疾患で、成人の突然死の代表的疾患です。急性大動脈解離は大動脈の急性炎症性疾患でもあり、疾患発生後の早期の段階で、生体における炎症を司る細胞群である白血球の数が血液内で増加することが知られています。しかしながら、大動脈解離におけるこれらの炎症反応がどのような方に起こりやすいのか、また、白血球数の増加がどの程度、治療経過に影響を及ぼすかなどの点は十分に解明されていません。

今回は、自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科と共同で、急性 A 型大動脈解離の診断で緊急手術が施行された方を対象として、白血球数増加を認めた方とそうでない方との臨床的な特徴や治療経過を比較して、白血球上昇がなぜ発生するのか、また手術治療にどのような影響を与えるのか調査することを目的としています。

### <利用する試料・情報の項目>

使用する情報:カルテに記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生の有無・手術前後の画像データ(CT・エコーなど)など。

### <対象となる患者さん>

対象となる方:2014年1月~2018年1月までに日本大学医学部附属板橋病院心臓血管外科で、急性 A 型大動脈解離の診断で、入院治療を受けられた患者様。

### <研究の方法>

自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科との共同研究であり、これまでのデータにおいて白血球増加を認めた方とそうでない方でそれぞれ解析する。

<外部への試料・情報の提供等>

自治医科大学附属さいたま医療センターとの共同研究として行われます。データを解析する際には患者さんの氏名や住所などと全く関わりのない番号を付す「匿名化」を行いますので、本研究成果を学会、論文等で公表する際に個々の患者さんが特定されることはありません。

<研究組織>

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第二講座 心臓血管外科(埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847) 氏名:木村直行

電話:048-647-2111

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

心臓血管外科 氏名:鈴木 馨斗

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2462 (PHS)8183

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)